

沖縄県立真和志高等学校 校長 屋宜 宣安

沖縄県立真和志高等学校のホームページにアクセスしていただきありがとうございます。  
昨年4月に第24代校長として就任しました屋宜宣安と申します。どうぞ宜しくお願いします。

首里城南苑の丘陵に位置する本校は、青々とした緑に囲まれた広大な敷地に建つ学習環境の豊かな学校として、昭和41年に開校し今年で創立58年目を迎えます。

「自主・敬愛・実践」を校訓に掲げ、特色ある学校づくりに励み、次代を担う個性豊かで創造性あふれる有為な人材育成に邁進してきました。

平成10年度には、多様な生徒の伸長を図るため、全日制普通科として県内初の単位制高校に移行しました。さらに平成16年度には、普通コース・介護福祉コース・クリエイティブアーツコースを設置して多様な社会のニーズに対応できる人材を育成しております。また、平成29年度からは介護福祉コースがみらい福祉科に学科改編し、普通科・みらい福祉科の2学科で様々な行事や授業、実習等に励んでいます。

普通科普通コースでは、90以上の選択科目の中から、興味・関心のある科目を38単位分選ぶことができるため、自分の得意分野を伸ばすことができるとともに、進学や就職など自らの進路希望に適した時間割を自分で組むことができます。また、資格取得のための様々な検定試験等にも積極的に挑戦しているところです。

普通科クリエイティブアーツコースは「陶芸」「イラスト・まんが」「写真・映像」の3つの専攻を設けており、お互いの個性と自主性を尊重しながら、未来のクリエイターを目指し、日々の授業はもとより様々なコンクール等へ挑戦するなどアートに関する知識と技能を高めています。また毎年開催される卒業記念展では、生徒の3年間の学びの集大成が展示され、保護者や関係者から大好評を得ています。

みらい福祉科では県内唯一の介護福祉国家試験受験資格認定校であり、令和5年度の国家試験合格率は88.2%と高い実績をあげています。生徒達は沖縄県の福祉現場を支えるプロフェッショナルを目指し、日々、技術と実践力を高めています。

令和2年度に新設された「ゆい教室」は、特性に応じた専門教育と、障害の有無にかかわらず同じ場所で学ぶ「インクルーシブ教育」の両立を目指すものであります。去る3月に第1期生の卒業生を送りだしました。今年度も1名の新入生を迎え、計4名の生徒が在籍しており、それぞれの連携学級等においては、障害の有無を越えた創意工夫された学び、共同学習が進められています。共同学習等を通して、生徒達は、本県の共生社会の実現を図る未来の担い手として、その資質・能力を高めています。

その他にも、多くの生徒が部活動に打ち込んでおり、「介護コンテスト」や「全国手話パフォーマンス甲子園」で、九州一、日本一となる活躍があり、活気に満ちた学校です。

本校では、これからも本校の教育目標である「自己の将来の進路について自分で考え、判断し、自分の責任で選択出来るとともに、他者を尊重し思いやりのある生徒」の育成に全職員一丸となって取り組んでまいります。本校を支えていただいております保護者、同窓生、地域の皆様はもちろんのこと、関係者の皆様には本校の更なる発展のため、変わらぬお力添えをお願いいたします。

# 校 訓

## 自 主・敬 愛・実 践

自主： 真理を求めてやまない情熱と知性を育み、正しい自己認識のもとに自主剛健の精神を培う。

敬愛： 和気あいあいとした明るい雰囲気でお互いの人格を認めあい、思いやりと助け合いの精神に満ちた、敬愛協和の民主的学園を築く。

実践： 志を立て、それを着実に達成させるため、体力と気力に支えられ、計画性、系統性、継続性のある逞しい実践力を養う。

(昭和61年5月7日制定)

## 校 章



### 校章の由来と意義

台は金剛石を表わし、那覇市のマークで縁をとることによりペンを象る。金剛石にペンを配したのは、金剛石は練磨されることによって、燦然と光り輝くように、生徒が学業に専念し、努力、研究することによって、内在する素質と能力が十分に啓発され、将来、立派な人材になってほしいと祈りをこめたものである。

校章に白百合を配したのは、女子学生としての清純さと、優しさの中にも気品のある気高さを念じたもので、これは戦前の女子師範、一高女の校章からヒントを得たものである。